



令和8年2月26日
府中町立府中中央小学校
保健室



学校保健委員会を開催しました

2月20日（金）に、学校医・学校薬剤師の先生方、PTA 役員の方々、管理職をはじめ関係職員が集まり、学校保健委員会を開催しました。

【報告内容】

- 令和7年度定期健康診断実施結果について
- 保健室利用状況、学校管理下における災害発生状況、保健教育の取組について
- 「児童の体力・運動能力調査」の結果と体力づくりの取組について
- 食育の取組について
- 学校環境衛生検査（水質検査、空気検査、照度検査等）の結果について



学校医講話 テーマ「学童の脊柱側弯症」 整形外科 月坂 和宏 先生

今年度は、運動器検診に来ていただく外科校医であり、マツダ病院にご勤務されている月坂先生より、学童期の脊柱側弯症についてご講話いただきました。

脊柱側弯症とは、背骨が左右に曲がり、ねじれを伴う病気です。原因がはっきりしない「特発性側弯症」が約8割を占め、そのうち約8割が女性にみられるとのことでした。特に10歳前後の女兒では約4%にみられ、小学5年生以降の急成長期に進行しやすいため注意が必要だそうです。講話では、11歳で発症した児童が治療を行わずに成長した場合、成人時には大きく進行していた例が紹介され、早期発見・早期対応の重要性を改めて感じました。現在も原因は明確には解明されておらず、治療は主に進行を抑えることを目的に行われるとのことでした。

側弯症は、まっすぐ立った姿勢では分かりにくいことがありますが、前屈すると背中中の左右差が目立ちます。そのため学校では前屈テストを行っています。しかし、着衣での検診では小さな変化が見過ごされる場合もあるため、年に1回はご家庭でも裸で前屈テストを行ってほしいとお話がありました。

また、10～11歳で身長伸びが少ない場合や、朝夕の身長差が2cm以上ある場合は注意が必要とのこと、日頃から成長の記録をとることも大切だそうです。

あわせて、昔の子供たちと比べて身長や体重といった体格は向上している一方で、運動機能の低下もみられることから、腹筋を中心とした体幹を鍛える運動を心がけてほしいとの助言もありました。

お子さんの成長期の体の変化に目を向け、早期発見につなげていただけたらと思います。



学校保健委員会の様子



月坂先生(左)ご講話の様子



「薬の授業（薬物乱用防止教室）」を実施しました



薬剤師 土居 典子先生

2月9日（月）に学校薬剤師の土居典子先生を講師にお迎えし、6年生を対象に、薬の正しい使い方や薬物乱用の危険性についてわかりやすくお話していただきました。6年生の感想から、学んだことを自分の生活や家族、友達のこと結びつけて真剣に考えている様子が伝わってきました。また、薬物の怖さだけでなく、正しい薬の使い方や相談することの大切さにも気づくことができました。これからもその姿勢を大切に、日常生活の中で意識し続けてほしいと思います。

6年生の感想

- エナジードリンクという身近なものにも大きな「害」があることを学び、日常生活を見直そうと思った。
- 薬物乱用は、心身への害だけでなく周りも巻き込んでしまうことを学び、厳重に禁止されている理由が分かりました。また、友達が使っていてもそれに流されず、自分たちだけで解決しようとせず、しっかりと相談できるところに相談し、友達を救ってあげることが大切なんだと学びました。
- 薬物は、自分の心が健康じゃないと、どんどん手を出してしまうから、常に心は健康にしておきたいです。
- 私の家族は、体調が悪いときに薬を使うことがよくあるけど、薬を使う時間が指定されていても、てきとうな時間に飲んでいることがあったので「それは危ないかもしれないよ」とか「薬が効きにくくなっているかもしれないよ」と家族に教えて、正しい薬の使い方を家族と心がけて行きたいと思った。
- 私は、父が薬を飲むので（何種類か）飲み合わせやお茶や炭酸で飲まないように確認して間違っていたら教えてあげたいと思いました。

薬物に関するいろいろな相談については、広島県健康福祉局薬務課（082-513-3221）や最寄りの保健所・保健センター（広島県西部保健所広島支所衛生環境課：082-228-2111）等があります。

2月18日（水）校長室にて、歯科保健優良表彰伝達式を行いました。これは、安芸地区歯科衛生連絡協議会による6年生を対象にした表彰です。小学校6年間の春の歯科検診を通して、むし歯及び歯・歯肉の異常がないという条件に当てはまる6年生が表彰されます。今年は、14名の児童が表彰されました。

また、19日（木）に行われたお昼のmeetでは、全校児童に向け、日ごろの歯のケアの方法や歯の健康のために心がけていることを発表してもらいました。発表した6年生の説得力のあるアドバイスを受け、歯の健康に関心をもち、日常における歯のケアが促進されることを期待しています。

